

ネイチャーセンターだより

6月のみどころ

【6月上旬】

コムクドリ、ノゴマ、コマドリ、ルリビタキなど夏鳥のコーラスで賑やかになります。また、ウソがネイチャーセンター付近にタンポポの種を食べにきます。近くで観察できるかもしれません。



コムクドリ

【6月中旬】

センダイハギ、シウリザクラ、ウミミドリ、エゾカンゾウが開花します。ノゴマやエゾセンニユウなど根室で子育てをする夏鳥が勢ぞろいして、賑やかにさえずります。



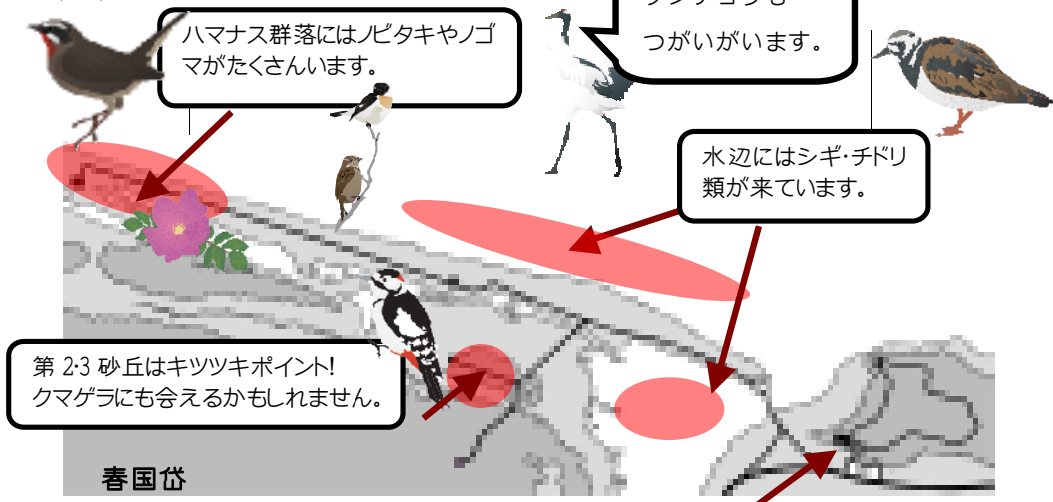
ハマナス

【6月下旬】

春国岱の第1砂丘のハマナスコースではハマナスが見ごろをむかえます。ハマナス付近には、ハマナスを止まり場に使う小鳥がやってくる場合があります。蚊が大量に発生する時期ですので、観察の時は、防虫対策をしっかりとした方が楽しめます。

※山菜や野の花は自然のままお楽しみください。多くの方が観察できるよう採集など持ち帰りはご遠慮ください。

おすすめスポット



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。お気軽にお声かけください。

トピックス

特定外来生物

5月中旬、特定外来生物のセイヨウオオマルハナバチの女王が根室市内でも確認されはじめました。

外来生物とは、もともと生息していなかった地域や国に、人によって持ち込まれた生き物のことを言います。その中でも生態系やもともといた在来の生き物、人の生命・身体、農林水産業に特に被害を及ぼす生物、またはその恐れのある生物を特定外来生物と呼んでいます。



セイヨウオオマルハナバチ

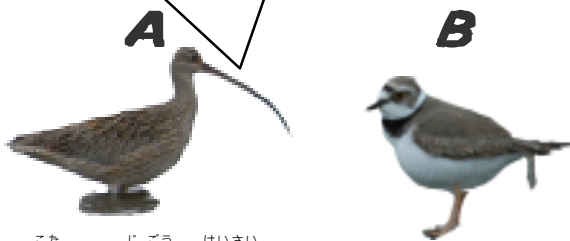
セイヨウオオマルハナバチはヨーロッパからハウストマトの受粉用に日本につれてこられました。トマトの生産性はあがったのですが、残念ながらハウスから逃げ出し北海道のあちこちに定着して爆発的に増えてしまいました。元々日本にいるエゾオオマルハナバチやノサップマルハナバチなどの食料や棲家を奪ってしまうと心配されています。根室には、他にもウチダザリガニやアライグマ、アメリカミンクなどの特定外来生物が生息しています。人によって連れてこられた生き物には罪はありませんが、在来の生態系などへの影響が大きく、地道に私たち人間が駆除活動を続けていく必要があります。

そこで…皆さんも特定外来生物の駆除に参加してみませんか?? ネイチャーセンターではセイヨウオオマルハナバチとウチダザリガニの駆除に取り組んでいます。興味のある方はネイチャーセンターまでご連絡ください。

春国岱クイズ

初夏の春国岱ではシギ・チドリなどの水鳥がエサをついばむ様子がみられます。さて、ここで問題です。皆さんはシギとチドリって見分けられますか? 下のA、Bのうちでシギはどちらでしょうか。

シギは全体的にチドリに比べ首が長くクチバシは長めです。



答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…A)

いきもの図鑑



英名 Winter wren 学名 *Troglodytes troglodytes*

ミンサザイ

(ミンサザイ科)

日本の野鳥の中で、最も小さい種のひとつです。毎日縄張り内を飛び回り、体の割りに、大きな声でさえずります。基本的に森林の中に生息し、その中でも比較的単独か番いで生活し、群れを形成することはありません。

レポート

タンチョウ調査

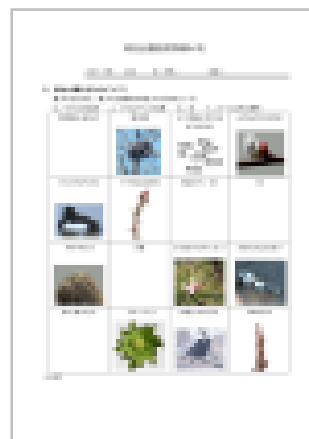
5月14日にタンチョウの繁殖状況を調べに行ってきました。春国岱を縄張りとするタンチョウのつがいは残念ながら繁殖をしていないようでした。まだまだ繁殖シーズンははじまったばかり、これからも見守っていきたいと思います。そしていつの日か春国岱でかわいいヒナの姿を見せてほしいです。



出前講座

4月末、花咲小学校の3年生と4年生の自然学習の授業にレンジャーが伺いました。学校近くの明治公園でビンゴゲームや音探しなどをしながら、身近な自然中にある鳥や植物を観察しました。

5月中旬には共和小学校に伺って、1、2年生とタンチョウの暮らしや行動を、4、5、6年生とラムサール条約や渡り鳥の生活についての勉強を、ゲームなどを交えて行いました。



NEWS

自然学習林に花名の看板がつけました

ボランティアグループ「 sunk 」のメンバーが4、5月と自然学習林の修繕をしてくださいました。

新たに観察路で見られる花の花名板を取り付けてくださった他、倒れてしまっていた樹名板や案内板などを立て直してくださいました。とてもすばらしいものなので、その成果を是非とも見に来てください。



動物や昆虫も活発に！

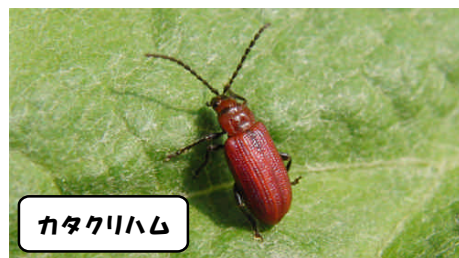


レンジャーに遭遇してしまったキタキツネ

最近、ネイチャーセンター周辺でキツネをよく見かけるようになりました。もしかしたら近くで子キツネを産んでエサ探しに大忙しなのかもしれません。

また、キツネだけではなく昆虫の姿もよく見られるようになりました。右の写真はカタクリハムシというハムシの仲間です。ハムシの仲間は葉を食べる者がほとんどです。中でも彼らはユリの仲間の葉が大好物だそうです。

これから夏にかけて虫の種類がどんどん増えていくので、どんどん紹介して行きたいと思います。



行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
6 / 11 (土) 13:00 ~ 15:30	春国岱ボランティア説明会 春国岱を歩きながらボランティアの活動紹介をします。観察会や調査など一緒に自然のために活動してみませんか？	無料	6/9 (木) までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 ※集合：春国岱ネイチャーセンター
6 / 19 (日) 13:00 ~ 14:30	春国岱クリーンアップ 春国岱の清掃活動に参加してみませんか？春国岱の自然を楽しみながら、ゴミを回収していきます。 主催：ボランティアグループ スンク	無料	ネイチャーセンターまでお問い合わせください。 当日参加も可能です。 ※集合：春国岱ネイチャーセンター
6 / 19 (日) 15:00 ~ 16:00	春国岱いやしの森コンサート 「亀工房」によるハンマーダルシマーとギターのセッションです。春国岱の景色を見ながら音楽を楽しみませんか？ 主催：ボランティアグループ スンク	大人 500 円 小中 100 円 幼児 無料	当日受付をいたします。 受付開始は 14:30 からです。 ※会場：春国岱ネイチャーセンター 1 階
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでかくされた本物を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要
いつでも	クイズ ネイチャーセンターの展示フロアに出題されたクイズに挑戦	無料	申込み不要

ボランティア

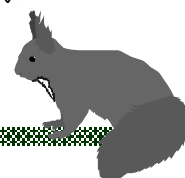
春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スンクと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問い合わせください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールド・ボランティア 300 円
ボランティアグループ・スンク 1500 円
- ◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 野外での禁煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から先は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆6月の休館日：1、8、15、22、29日

◆6月の開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます

（要 事前申込）